

# コスモス 9月号

第68巻 第9号

◆宮柁ニカレンダ―(18) 九月の歌

たたかひを終りたる身を遊ばせて石群いはむらがれる

谷川を越ゆ

歌集『小紺珠』

毛沢東の中共軍がもつとも強かった山西省に派遣されて約四年間。ある時は一人対一人で殺し合うとか、ある時は猫や鼠さえ食べて戦った山西省。帰還後、敗戦直前は茨城に派遣された。

昭和二十年八月敗戦になり九月には妻と赤ちゃん  
が疎開している宇奈月に行った。その時ひとり黒部  
谿谷に入った時の短歌。赤い岩が聳え濁った黄砂の  
水が流れる中国の川に対して、緑の木々が繁り、青  
い苔の生えた岩の間を流れ落ちる青い冷たい水を見  
て、戦を終った身体の芯から生き返った気持ちにな  
ったのだろう。  
(島田 暉)